

景気の低迷を受けて 今後の市政は？



無会派（みんなの党） いたう 太郎

Q. まずは景気の低迷により、税収が落ち込んでいます。今回の予算案は高齢者福祉や社会教育などの市民に直結する市民サービスに対して、予算の削減がされています。市長は収支均衡型予算を組まれるとおっしゃっていましたが、どのようなお考えをお持ちですか？

市長 財政の健全化だと思います！現在の状況よりも後はさらに悪化する事が想定されています。今の状況の中で、どうやって福祉を守っていくかだと思います。これは例えば今まで提供してきたサービスにしても、それが継続できなくなってきたというようなことから、きょうもさまざま強い御指摘をいただいています。基本的には、現在の状況の中で、市民の命、健康、また福祉を守っていくことが第一のことだと思っております。そのために必要な行政上の改革、それは先ほどいとう議員からも組合交渉というような例が挙げられましたけれども、そういったことも含めて、今後さらなる努力をしてみたいと考えております。

Q. 一方国会では民主・自民・公明党が国家公務員の給料を7.8%削減する事に合意しました。これを受けての質問ですが、地方公務員法24条の3、これは地方公務員の給与に関する事を定めておりますが、地方公務員は国家公務員の給与に準じますという意味です。ところが地公法3条に該当させるのか、市の組合に7.8%の削減を求められるか？人件費の削減が今回の行財政改革の特効薬です。市長は組合に納税者の苦しみを伝え、頑張ってもらいたい。

意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。
全文はホームページに掲載しています。
調査担当（内581）

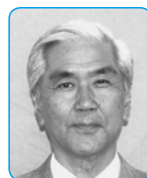
〔仮称〕こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

現在我が国では、年間自殺者が3万人を超えるなど先進国で最悪の状況であり、320万人を超える人々が精神疾患を抱えている。また、ひきこもり・虐待・路上生活などの社会問題の多くの背景にも、こころの健康の問題があるとされている。まさに「国民のこころの健康の危機」と言える状況にある。

しかしながら我が国の精神疾患対策は、他の先進諸国に比べ著しく低く、社会の取り組みも大幅に遅れているなど、こころの健康にふさわしい精神保健・医療・福祉施策がとられていない。心身の健康は、一人ひとりの国民の基本的な権利であり、社会の活力と発展の基盤をなすものである。国民がこころの健康を保持し、安心して生活ができる社会を実現するためには、精神保健医療の改革とこころの健康を守る総合的かつ長期的な政策の実現が求められる。

よって、国及び国会に対し、こころの健康を守り、精神疾患対策に関する基本理念や施策の基本事項を定める「〔仮称〕こころの健康を守り推進する基本法」の制定を求めるものである。

福祉・教育を切り捨てて 北口再開発に投入か



無会派（社民党） 釜我 健二

釜我 市長は国分寺駅北口再開発事業に市民合意があると言っているが、それは全くの錯覚だ。市長 全市民の合意があるとは言わない。必要に応じ説明に努めることは大事だと考える。

釜我 これまでも北口再開発には莫大な予算が投入され、今後もさらに巨額な支出が予定されている。その一方で24年度予算では高齢者サービスの低下、補助金削減、公民館事業（50%削減）、図書購入費（20%超削減）など市民が求める多くの予算が軒並み削られている。北口事業とこの市民要求のアンバランスはひどすぎる。

市長 この部分はしばらく我慢してもらいたい。釜我 北口には莫大な予算を投入する一方、市民のための予算は大幅に削減されている。本当にこんな予算でよいのか市民に問うべきだ。

市長の無計画が税金の 無駄遣いを作っている



無会派（無所属） 甲斐 よしと

甲斐 予算案は福祉、社会教育を始め事業の縮小や廃止が多いゆえ、市長は市民との合意形成をめざし、半年、一年かけた直接対話が必要だ。自ら制定した自治基本条例に違反したやり方だ。財政が厳しいと言いつつ、市長自らが無駄遣いをしている。私は過去、東元町さわやかプラザは近くに銭湯がある故、武蔵野市のように銭湯で介護予防体操をして入浴補助という形にして風呂を新設するなど反対したが造って市長は5年も経ず閉鎖だと。戸倉福祉センターの風呂は昨年1,352万で全改修して5ヶ月後に閉鎖決定だと。市長の無政策が税金の無駄を生んだ。

市長 建設検討委員会の市民意見を反映して造ったが…造って間もない所も中止と判断した。甲斐 自らの反省もなく市長席に座る資格無い。

閉会中の委員会

委員会はどこまでも傍聴できます。

第1回定例会終了後、平成24年第2回定例会までの間に開催する委員会は下記のとおりです。

4月3日（火） 議会運営委員会
代表者会議
4月18日（水） 代表者会議
4月19日（木） 建設環境委員会
4月20日（金） ごみ対策特別委員会
4月24日（火） 文教委員会
4月26日（木） 議会運営委員会
4月27日（金） 厚生委員会

5月9日（水） 総務委員会
5月10日（木） 国分寺駅周辺整備特別委員会
5月14日（月） 子どもの権利と未来を守ろう条例審査特別委員会
5月30日（水） 代表者会議
議会運営委員会

※委員会は市役所第1庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。
議事担当（内468）

議員研修会を開催

2月20日に江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）を講師に、議員研修会を開催しました。

2月20日に全議員を対象に「議員研修会」を実施しました。

今回の研修会では、第30次地方制度調査会委員、北海道栗山町議会サポーター、三重県議会議会改革諮問会議会長などに就任し活躍されている、江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）を講師としてお招きし、研修会を行いました。

「新しい地方議会と議員の役割」を演題として、最近の地方議会を取り巻く環境や議会改革の具体的な事例、地方議会のあり方や議会改革の必要性についての講演を受けました。また講演後は、活発な質疑応答が交わされるなど、充実した研修会となりました。

国分寺市議会では、議員の資質と政策立案能力の向上のため、このような「議員研修会」を随時実施しています。

「日曜議会」を開催

今定例会の初日（2月24日）に、市長から施政方針が発表され、それに対する各会派からの代表質問を2月26日（日）に行いました。

当日は多くの市民の方が来場され、議会を傍聴されました。（内訳は下記のとおり）

国分寺市議会では、今後も「日曜議会」の開催を継続し、「開かれた議会」となるよう取り組んでまいります。

傍聴者人数年代別集計			
20歳未満	1人	50歳代	9人
20歳代	0人	60歳代	22人
30歳代	3人	70歳代以上	19人
40歳代	9人	年齢不明	10人
合計		73人	

議事担当（内468）

音声配信について

市議会では、2月26日の日曜議会で行われた市長の施政方針に対する各会派からの「代表質問」の様態を、本会議録が完成するまでの間（5月30日予定）、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご活用ください。

議事担当（内468）